

平成 20 年 8 月 7 日

—岩手宮城内陸大震災支援企画—

## お茶わんプロジェクトⅢ 報告書

主催 NPO 法人ひまわりの夢企画（神戸）

### 1. お茶わんプロジェクトとは？

大地震が起きると家も壊れますが、お茶わんも割れます。避難所から仮設住宅に移るまでの約 1 か月の間に、全国から未使用の食器類を集め、被災者に配布するという企画です。一連の実行組織と活動を、「お茶わんプロジェクト」と称しています。阪神大震災の経験を生かし、「困った時はお互いさま」の共助の心を、民から民に繋ぐプロジェクトです。初回は中越大震災、二回目は中越沖地震（柏崎）、今回で三度目になります。

### 2. 食器の集積基地（被災地協力団体）

くりこま高原自然学校（宮城県栗原市栗駒地区）代表 佐々木豊志

### 3. 食器配布の協力団体

- (1) くりこま高原自然学校 塾生及びスタッフ
- (2) 栗原市社会福祉協議会 築館支所職員
- (3) 近隣市町村からのボランティアスタッフ

### 4. 食器の集積数（段ボール箱・みかん箱大基準）

(1) くりこま高原自然学校到着分	7月10日～20日	285箱
(2) " " 期日遅れ到着分	21日～31日	25箱
(3) 神戸で集配・荒井直送分	7月18日	30箱
(4) 配布会場に直接持ち込まれた分	7月19日～21日	<u>110箱</u>
	<u>集積合計</u>	<u>450箱</u>

### 5. 食器の配布日と場所（栗原市内）

(1) 7月19日	栗駒・風土館	90箱
(2) 20日	" "	120箱
(3) 21日	花山・湖畔の里（高齢者福祉センター）	110箱
(4) 8月 2日	築館・七夕チャリティ築の市	<u>130箱</u>
	<u>配布合計</u>	<u>450箱</u>

### 6. 主催者からの御礼

8月2日の配布会をもって、「お茶わんプロジェクトⅢ」が完了致しました。全国に呼びかけてくれたマスコミ各社、被災者でありながら集積を引き受けて頂いたくりこま高原自然学校、配布を快く支援頂いた栗原市社協の皆さん、そして食器を提供頂いた全国の皆さん、心より御礼申し上げます。

ひまわりオジサン・荒井勲